

清酒製造技術研究会

支援先

清酒製造企業等

【目的】

長期的展望として、清酒製造技術に関する勉強会の定期的な実施を通して、各蔵における清酒の品質向上や製造技術者の育成、更には茨城県産酒の底上げを目指します。短期的には、技術情報の収集・共有化や製造現場での悩み相談の場、参加者間の情報交換ネットワーク構築を目的に、県内製造従事者向け研究会を開催します。

【内容】

当該研究会への入会状況：会員企業数 18 社

開催状況：下表のとおり 5 回勉強会を開催した。

表 1：日程及び概要

回	日程	参加数	概要
1	6/16 (月)	14 社 19 名	情報交換：H25 酒造年度の造りを振り返って 情報提供：全国新酒鑑評会の予審及び製造技術研究会
2	6/17 (火) ～20 (金)	8 社 10 名	試験製麴：タライを用いた製麴操作の検討
3	6/24 (火)	16 社 29 名	講演：種麴の特性と麴の新規利用 (樋口松之助商店 山下氏)
4	7/24 (木)	15 社 29 名	視察見学：栃木県産業技術センター、渡邊酒造 (栃木県)
5	8/20 (水)	15 社 28 名	情報提供：南部杜氏協会夏期講習会の結果 他 講演：私の吟醸造りについて (青木酒造 箭内杜氏)

◎第 3 回講演「種麴の特性と麴の新規利用」

①麴の品質に影響を及ぼす諸因子、②クエン酸産生麴菌の清酒醸造への応用、③麴菌と麴の利用に関する最近の話題等を紹介いただきました。

◎第 5 回講演「私の吟醸造りについて」

平成 25 酒造年度の大吟醸の造り全般について、製麴、酒母及び醪の経過等のデータを提示しながら、製造上のポイント等を解説いただきました。



図 1：第 5 回講演会の様子



図 2：蔵見学の様子

【今後の予定】

来年度以降も引き続き、茨城県産酒の底上げを目標に、研究会活動を継続していく方針です。

基礎となった事業

平成 26 年度 オンリーワン技術開発支援事業 (研究会)

担当部門

食品バイオ部門

部門長

吉浦 貴紀

TEL:029-293-7497

主任研究員

武田 文宣